

幌別中学校と登別中学校の統合に関する学校統合委員会 新校区検討部会 第2回会議 議事録

日時 令和5年12月21日（木）18時00分

会場 登別市民会館 大会議室

出席者 （委員）

速水委員、藤江委員、齊藤委員、畑山委員、坂井委員、岸委員+
（事務局）

森元部長、菅田参与、館下次長、近間総務 G 総括主幹、南雲総務 G 主幹、
出口主査、蓬田主査、西川原学校教育 G 総括主幹、秋葉学校教育 G 学務主幹

【議事録】

○部会長 出席予定の方は全員いらっしゃっているということで、少し早いですが、幌別中学校と登別中学校の統合に関する学校統合委員会の第2回新校区検討部会を始めたいと思います。前回は、事務局から部会の運営について説明を受けた後、統合後の新しい学校における、校名、校歌、校章、制服の取扱いについて協議しました。

事務局からは、校名、校歌、校章については、幌別中学校を継続する一方で、制服については、今回の統合を機に、新しいものを導入してはどうかという提案があり、これについて協議を行いました。その結果、制服については、事務局の提案どおり、新しいものを導入するということがまとまりました。しかし、校名、校歌、校章については、幌別中学校を継続するのが自然な流れではないか、校名よりもソフト面の取組が大事ではないかといった意見がある一方、新しい学校を作る意識で臨むため、また、登別中学校在校生の精神的な負担を無くすためにも、新しい校名とすべきではないかといった意見があり、制服以外の取扱いについては、今回の会議で再度協議することになりました。それではさっそく協議に入らせていただきます。協議事項（1）は「新制服導入に関する進め方について」です。前回会議で意見がまとまった新制服導入に関する考え方について、事務

局で資料を用意しているということなので説明をお願いします。

○事務局 (事務局より資料に基づき説明)

○部会長 ありがとうございました。新制服導入に関する考え方について、事務局より説明がありました。内容としては、2つ進め方がありまして、令和7年度の新入学生から、統合前の両校で先行的に導入する方法、もうひとつは、令和9年度に、統合後の学校で新制服を導入する方法になりますが、本日欠席している登別中学校PTAの飯尾委員と五十嵐委員、登別小学校PTAの岩部委員は、令和7年度からの導入に賛成ということで連絡をいただいているとのことでした。それでは、委員の皆さんから質問や意見などありましたらお願いいたします。

○委員 私も令和7年度の導入でいいと思います。

○委員 私も令和7年度の導入でいいと思います。令和9年度の導入だと、3つの制服が混在するというので、新しい学校を作ろうとする時に、分裂というわけではないですが、統一感が無くなるような気がします。それであれば少し準備の時間は短いですが、令和7年度の新入学生から統合前の両校で導入し、令和9年度の統合時には、全生徒が新制服を着用するのがいいのではないのでしょうか。

○部会長 ありがとうございます。

○委員 時期については、子どもたちにとって最も良いタイミングであれば、令和7年度の導入でいいと思います。あとは選び方ですが、制服を変えるのは子どもたちにとっては大きなイベントだと思うので、どのような形でやるのか教えていただければと思います。

○事務局 さきほど申し上げたように、両校生徒による合同委員会で複数の候補を選び、この候補を対象に両校の在校生、幌別小学校、幌別東小学校、登別小学校の4年

生から6年生の投票で決定したいと思います。

○委員 複数の候補というのとはどのような形で選ぶのですか？

○事務局 まずは両校の校長、教頭などで、メーカー提案モデルの中から1次候補を選び、さらに両校生徒による合同委員会で最終候補を絞り込むことを想定しています。

○委員 メーカーの提案モデルには、ブレザーだけでなく、学生服やセーラー服なども含まれることになるのでしょうか？

○事務局 学生服やセーラー服が含まれるかはわかりませんが、メーカーに依頼する段階である程度条件を付けるかどうかは今後の検討だと思います。

○委員 スケジュール的にはそのやり方で何とか間に合いそうですか？

○事務局 年明けすぐに着手すれば間に合うと思います。

○委員 間に合うのであれば、そのやり方でいいと思いますが、あとは子どもたちが楽しんで制服を選べる環境を作ってあげられればいいと思います。

○委員 やはり保護者への説明に時間を要するのかなと思います。いまよりも安くなるというメリットがないと、揉めることもあると思いますので。

○委員 令和7年度に、新入学生を対象に新制服を導入する際には、その時点の在校生、中学校2～3年生は新制服への買い替えは可能になるのでしょうか。保護者や子どもたちの中には、新しい制服のデザインが気に入って購入したいというケースもあるかと思うのですが、もし買い替えできないということであれば、いまの6年生は新制服を着用することはありませんので、投票させる必要はあるのでしょうか。であれば、3～5年生に投票させるのがいいような気がします。

○委員 体が大きくなって買い替えというケースもありますよね。そうした場合にどうするのか。

○事務局 生徒によって違うものを着用しているというのは、制服の主旨から外れる部分がありますので、基本的なルールとしては、在校生が新制服を着用することは認めないことになろうかと思います。

○委員 特に男の子の場合には、体が大きくなって買い替える可能性もあると思うんですが、その際、従前の幌別中学校、登別中学校の制服は買える状態にあるのでしょうか？

○事務局 あると思います。

○委員 それであれば投票は3～5年生にするのがいいのでしょうか。

○事務局 投票自体は新年度に行うことになるので、現在の3～5年生、投票時点の4～6年生を対象に行うことになり、全学年が新制服を着用する世代になります。ただ、関係ない世代には投票させないということになれば、中学校の在校生には投票させる必要がないということになってしまいます。母校の制服をどうしたいかという思いもありますし、実際に制服を着ている経験がありますので、在校生にも投票させる形で考えております。

○部会長 他に何かありますか？

○委員 令和7年度以降の新入学生は、旧制服を買えなくなるわけですから、ますます旧制服と新制服の価格に差があつたらいけないですね。

○部会長 物価の高騰もありますし、近い値段という訳にはいかないような気がしますね。

ブレザーということになれば、形式も異なるし、生地も違いうだろうし。もちろん出来るだけコストを抑えるような形にはなるとは思いますが、若干高上りにはなるのかなと思います。

○委員 今の制服についても、形は変わらないですが、値段は上がってきているんですよね？

○事務局 制服の形は変わっていませんが、物価は上がっていますので、値段も上がっているものと思われます。子どもたちの合同委員会の前に、学校やPTA役員で1次候補を選ぶこととなりますので、その段階で価格も含めて選考することになるかと思います。

○委員 基本的にはガラッと変わることになるんですよね。

○事務局 そうなると思います。

○委員 令和7年度以降の新入学生は、その制服しか着用できなくなると言うんですが、在校生のお下がりを買ったという人もいるかもしれません。皆が新品を買えるわけではありませので、そういうケースへの対応も考えておいた方がいいような気がします。

○部会長 お下がりへの対応ということを考えると、統合しても制服を変えられないということになってしまいます。統一感を持たせるために制服を新しくするという発想なので、ある程度仕方ないような気がします。もちろんそれぞれに経済的な事情はあるかもしれませんが、中学校に入学して制服を買うのは通常のことです。

○岸委員 うちも一枚目はお下がりでした。というのも、コロナ下で制服を着る機会が少なかったのできれいだったんです。でも、1年間着ていけば、肘や膝の部分は光ってきますし、お下がりというのは少し可哀想かなと思います。新しい物を着せ

たいというのが親心かなと思いますし。

○事務局 ちなみに、鷺別中学校は昨年制服を変えていますので、その際の対応をお話します。鷺別中学校では、ジェンダーレスの制服を導入しようということで、令和5年度から、現在の1年生を対象に新制服を導入しました。その際にも、委員がおっしゃったように、お下がりへの対応ができなくなるのではないかと心配はあったのですが、実際にはそうした苦情などはありませんでした。逆に、お下がりということと言いますと、ジェンダーレスになっていますので、男女関係なく、お下がりへの対応が可能になる部分があります。

○委員 女子はスカートでもスラックスでも選べるんですね。どっちを買ってもいいんですね？

○事務局 そのとおりです。

○部会長 よろしいでしょうか。他に何かありますでしょうか。

○委員 ちなみに、鷺別中学校の場合にはどのような決め方をしたのでしょうか。学校やPTAが選んだ候補から、子どもたちの投票で決めるようなやり方をしたのですか？

○事務局 鷺別中学校の場合には、当初から、ジェンダーレスの制服を導入するという考えがあったので、学校とPTA役員で相談して決める形をとりました。子どもたちの投票やアンケートは行っておりません。ただ、決定後には、12月に行う新入学生の保護者説明会前に、若草小学校と鷺別小学校に新制服を展示し、子どもたちはもちろん、参観日の際などに保護者にも見てもらえるようにしました。

○部会長 よろしいでしょうか。他に何かありますでしょうか。それでは、制服については、令和7年度の新入学生から、統合前の両校で先行して新しいものを導入する

ということでもよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

○部会長 制服については、そのような形で部会としての意見をまとめたいと思います。

○部会長 続いて、協議事項(2)は「校名/校歌/校章について」です。これについても、前回の結果を踏まえ、事務局で資料を用意しているとのことですので、これについて説明をお願いします。

○事務局 (事務局より資料に基づき説明)

○事務局 事務局より、「校名/校歌/校章について」説明がありました。内容としては、今回は、統合に際し、校舎の新築や大規模改修を伴わないことから、幌別中学校を継続することが理解しやすいことに加え、今後想定される西陵中学校との統合を考えても、校名等は変更しない取扱いにしたいとの説明でした。ただ、前回会議では、新しい学校を作っていく気持ちで臨むためにも、校名などは新しくすべき、登別中学校在校生の精神的負担を考えても、変更することが望ましいとの意見がありました。これについては、登別中学校の特色を含め、両校の良さを生かすことで、新しい校風を作っていくよう取り組むほか、在校生のケアについては、事前の交流事業や教員配置など、ソフト面の配慮をきめ細かく行うことで、万全を期したいとの考えが示されました。これについて、委員の皆さんから、質問や意見などはありませんでしょうか？

○委員 登別中学校区では、長期間にわたって協議し、最終的に統合を了承したわけですが、その時に校名について何か意見はあったのでしょうか。

○岸委員 登別中学校側としては、幌別中学校に吸収されるような印象があって、そのような形にはしたくないというのがありました。吸収ではなくて、校区を拡大する、

新しい学校を作っていく、そういうイメージでやりたいというのがありましたので、校名や校歌、制服についても、当然に幌別中学校にするのではなくて、その取扱い自体を検討して欲しいという考えをまとめました。

○委員 私自身は、登別中学校と幌別中学校が一緒になることは大歓迎です。ひとつになる中で、熊舞をはじめとした登別中学校の特色ある取組を取り入れていくことで、新しい学校が作られていくと思っています。同じく部活動も、今までできなかったことができるようになったり、吹奏楽については、両校とも優秀ですので、ひとつになることでいっそう力を増したりということになる。校名ももちろん大切ですが、そうした中身の部分が重要だと思っています。また、統合が決まった際に、幌別中学校区の町内会の皆さん向けに説明会が行われたのですが、その際には、質問などはありませんでした。しかし、校名が変わるとなれば、そういうわけにはいかないと思います。幌別中学校の町内会や同窓会に理解を得ることが必要になります。手間がかかるからできないということではありませんが、校名や校歌については、事務局案どおり、幌別中学校を引き継ぐのが理解を得やすいのではないかと思います。

○委員 もちろん校名は大切ですが、登別市立幌別中学校ですので、「登別」という言葉が入ってますから、無くなるわけじゃないんだと思っています。

○委員 登別中学校区側から出席している我々二人は、もともと統合に賛成しておりました。ただ、先ほど委員が、校名を変えるとなれば、幌別中学校区の町内会に理解を得なければとおっしゃいましたが、同じように登別中学校区では、統合して中学校が無くなることはけしからんという意見も多かったわけです。しかし、子どもたちの教育のことを考えれば、一定の人数は必要だろうということで、最終的に統合を了承することになったわけです。登別中学校と登別温泉中学校が統合する際にもいろいろと話し合いが行われましたが、登別地区と温泉地区の場合には、生活圈や経済圏が比較的近かったので、保護者同士の交流もあり、感情的な行き違いやトラブルが生じないようにする土俵も作りやすかったという面がありま

す。対して、幌別地区と登別地区は生活圏や経済圏も違いますので、保護者の皆さんの心配事も多く、統合の話し合いをしても、マイナスな意見ばかりが出てきてしまう。そうであれば、制服を決める時のやり方もそうですし、校名や校歌も新しくして、校章も工学院の学生にデザインしてもらおうとか、子どもたちがわくわくするような環境を作ってあげたいなあと。登別という言葉を残したいということよりも、子どもたちがわくわくする環境を作ってあげたいという気持ちが強いです。

○委員 我々としては、言い方は悪いですが、受け入れる側ですので、校名についても、引き続き幌別中学校でという考えしかなかったわけですが、登別中学校区の皆さんの思いを聞かせていただいて、そうした気持ちを分かった上で検討していければいいと思います。

○委員 さきほど統合時に生徒全員が同じ制服を着ることによって一体感を持てるよという話がありましたが、逆に言うと、統合後の中学校区はそれだけ広い地域になるので、一体感を持つこと自体難しいということだと思っんです。だから保護者の皆さんは色々と心配があるんだろうし、いじめとか、生徒間の分断とかが心配されるわけです。それであれば校名や校歌を新しくして、何か子どもたちの楽しみになるようなことを与えてあげたい。子どもたちがわくわくするような環境を作ってあげたい。そういう気持ちです。

○部会長 統合して校名や校歌、校章を変えとなった時に、令和9年度の統合に間に合うのかという問題もあるかなと思います。そういうこともあり、制服を新しくすることで、刷新感や一体感を出したらどうかという事務局の提案だったかと思います。確かに統合される側としては、様々な思いがあろうかと思っています。私も、幌別東小学校と幌別小学校が統合する際に、地区別検討委員会に参加しましたが、まさに同じような意見が出ました。

○委員 全く同じです。

○部会長 ただ話していく中で、子どもたちの精神的な負担などに関しては、学校や教育委員会でフォローしていくと、その上で校名は幌別小学校でということでした。それで幌別東小学校側も納得したという経緯がありました。中学校は制服があるので、両校とも制服を変えるということでもいいのではないかと思います。両校とも制服を変えて、心機一転スタートするということがいいと思うのですが。

○委員 私は20年間登別温泉に勤めていたのですが、その当時、地獄祭りは温泉の人間だけでやってたんですよ。それが今は登別地区の人間はもちろん、幌別の人間も結構手伝いに行ってますよね。校区が一緒になることで、校名よりも何よりも、地域の一体感が違ってくるのではないかと思います。それは自然に変わってくると思いますので。

○部会長 経済圏や生活圏が違うという話がありましたが、同じ登別なので。

○岸委員 私は、正直に言うと、幌別中学校でもいいと思うんですよ。言い方は悪いかもしれませんが、納得させなきゃいけないのは大人の人達っていうところがあると思います。前回、委員からもあったように、子どもたちがどう思っているかというのは気になります。幌別中学校に行くということで、わくわく感を持っているかもしれないですし。

○委員 部活が増えるだとか、吹奏楽部も人数が増えて、編制が大きくなるだとか、そういうことでもいいと思うんですが。

○岸委員 子どもたちがいいと言うことで、大人たちも納得するんじゃないかと思います。

○委員 いつも大人の思いで動くようなところはありますよね。例えば今年の地獄まつりの鬼みこしが中止になったのも、もちろん熱中症を心配してのことだとは思いますが、子どもたちはやりたかったのかもしれないし。

○岸 委員 私としては、大人の議論ではなくて、子どもの思いを取り上げて、それに大人が協力することが重要だと思っています。ですので、さきほども申し上げたように、私自身は校名にはそこまでこだわりはありません。事務局からもあったように、西陵中学校との統合時に新校舎の建設が予定されるのであれば、そのタイミングで校名を考えたほうがいいのかとも思いますし。そういう意味では、幌別中学校を引き続きというのもいいのではないかと思います。

○委 員 登別中学校区のお二人にお伺いするんですが、やはり会議などで地域の方と会うと、校名は変えないのかという話になりますか？

○委 員 校名のことを言っている人はいます。さきほど岸委員からあったように、周りを納得させるには、合併感を無くすことが必要なんだと思います。もうひとつは、保護者の中には、統合で一定の規模が確保されるので、そのことを良しとしている人もいれば、子どもたちのことを心配している人もいます。そうした意味でも、新しい学校を作る象徴のようなものが必要なのかなと思います。校名や校歌、校章はずっと残っていくものなので、子どもたちにしてみれば、自分たちがそれを決めたというわくわく感を持てるのかなと思います。これから熊舞や鬼みこしをどうしていくか話し合うということで、非常に配慮してもらっていると思うし、幌別地区の方達には、そうしたものにもっと触れて欲しいとも思います。それは子どもたちだけではなく、保護者も一緒だと思います。そこは統合の大きなメリットだと思うんですね。

○委 員 校区がひとつになることによって、子どもたちだけでなく、大人同士の交流も始まると思います。そうしたことを積み重ねることで、少しずつ地域の意識も変わってくると思います。子どもたちは知らない人と話しちゃダメだというようなことも言われていて、世代間交流自体が難しい時代ではありますが、校区がひとつになることで、大人同士の交流、大人と子どもたちの交流も広がるものだと思います。

○委 員 皆さんの意見を聞いていると、校名や校歌もという気持ちは持ちつつも、制服を変えることで、子どもたちに楽しみを与えるような形でやっていただければいいのかなと思います。

○部 会 長 ちなみに登別中学校区で統合を検討した際には、生徒に、統合に関するアンケートをとったことはありましたか？

○岸 委 員 統合が決定していない段階ではとっていたと思います。

○部 会 長 例えば校名が変わる、または変わらないことについてどう思うかというアンケートをとるのはどうなんでしょうか。

○岸 委 員 統合時に在籍する子どもたちとなると、現在の小学校3～5年生になりますが、聞いてもうまくイメージできないような気がします。6年生ぐらいになると、興味を持つような気もしますが。

○委 員 うちの子は幌別東小学校の6年生で、実際、幌別小学校と統合する令和7年度にはもう卒業してしまっているのですが、例えばということで、統合の話をしてみても、そこまで抵抗は無いようでした。もともと幌別東小学校と幌別小学校の場合には中学校で一緒になりますので、そこまで抵抗は無かったようです。そうしたこともあって、幌別東小学校と幌別小学校の学校統合委員会では、校歌や校章の話にはなりませんでした。登別中学校の場合とは、状況は違うと思います。ただ、統合ということだけでなく、中学校で別の小学校の子と一緒にすることにはそれなりに不安を持っているようですが、それでも子どもは順応していくんだと思います。子どもが成長する中で、そうしたことはよくあることで、我々保護者も間近で子どもが新しい世界に出会う様子を見てきたと思います。子どもたちは新しい環境にもよく順応していきますので。そういう意味では、校名や校歌、そうした冠自体は子どもたちにとっては、あまり関係ないことなのかなと思います

す。自分の中学校時代を考えても、友達との思い出はたくさんありますが、校歌は覚えていませんし。そういう意味では、アンケートをとったとしても、子どもたちが関心を示すかどうかは難しいところだなと思います。

○事務局 委員がおっしゃるように、子どもたちが興味を持っているかどうかは難しい部分があると思いますし、また、アンケートをとるとすれば、登別中学校だけではなく、幌別中学校の子どもたちにもとらなければならないと思いますので、そうした時に、アンケートの結果がどうなるのか。数で決めるというわけではありませんが、結果が割れる可能性はありますので、その結果を踏まえて、どう判断するのかというのは難しいところがあると思います。

○委員 自分のことを振り返っても、高校に入学する時はやはり不安だったと思うんです、多数の中学校からいろんな子どもたちが来ますので。でも、入学してしまえば、子どもたちは順応していくものだと思います。もちろん、私も、子どもが中学校に入学するにあたり不安は感じます。知らない子どもたちがたくさんいるわけですし、保護者もそうですし。でも子どもたちは順応しますし、私たちも慣れるしかないと思います。そういう意味では、校名や校歌といった冠自体よりも、子どもたちがうまくコミュニケーションをとっていけるか、そのほうが重要だと思います。ましてや中学生ですから。

○部会長 中学生になる時には、制服を着るということに凄く憧れたと思うんですよ。中学校に入学する子どもたちにとっては、制服を着るということが大きいと思うんです。制服で校名を把握するようなところもありますし、校名や校歌、校章は、実際にはそこまで子どもたちは意識しないのかなと思います。もちろん、登別中学校区の方達にとっては、校歌が残らないのは寂しいとは思いますが、新しくすれば、結局は残らないわけですから。そういう意味では、今回、制服を新しくするわけですから、校名や校歌はそのままでいいのかなと思います。

○委員 私もそれで結構です。ただ、そんなに校歌は覚えていないものですかね。やは

り校歌に地域のことが謳われているんですよね。先達の思いが受け継がれていくものだと思うんです。私の場合には、登別温泉の成り立ちを校歌や校章を通じて感じてきたところがあるので。高校についても、アイヌ語で始まる校歌は自分にとっては誇りだったので。先輩たちの思いを感じましたから。人生に影響を与えたという言い過ぎかもしれないけど。

○部会長 他に何かありますでしょうか。

(なしの声あり)

○部会長 無いようなので、制服は新しくする一方で、校名、校歌、校章については、幌別中学校を引き継ぐということにしたいと思いますが。

○事務局 非常に活発な議論をしていただいて、本日のまとめとしては、幌別中学校を継続するというところでまとまりつつあるのですが、本日の会議は、特に登別中学校側の出席者が少ない状況です。校名や校歌は非常に大きなテーマでもありますので、本日の議論の流れを事務局でまとめて、次回、あらためて結論を得たいと思うのですが、いかがでしょうか。その方が後に禍根を残さないかと思います。

○委員 ここまで議論してきたわけですし、結論をまとめてもいいのではないですか。

○部会長 やはり登別中学校区の方達が揃っていた方がいいと思うので、結論は次回にしましょう。制服については、どうですか？

○事務局 制服については、令和7年度の導入まで時間的余裕がありませんので、準備を進めます。

○部会長 委員から、工学院の学生にデザインをお願いしてはという話がありましたが。

○委 員 私の発想としては、せっかく新しいことをするなら、多くの人に関わってもらって、楽しいことができればいいなということです。ただ、時間的に余裕がないでしょうか。

○事務局 制服を一からデザインしてとなると時間的に難しいと思います。加えて、価格の問題もありますので、メーカーの基本モデルから選び、ラインなど細部でデザインを加えるかどうかということになるかと思います。

○委 員 ジャージについては、いまは全学年同じなんでしょうか？

○部会長 幌別中学校は全学年同じですね。学年でジャージの色を変えたらどうかと思ったのですが、生徒数が少なくなり、ロットが確保できないので難しいということでした。上靴やかばんについても、ジャージと合わせて学校で検討することになると思いますので、その結果については、また情報提供があらうかと思います。それでは、校名、校歌、校章については、次回あらためて結論をまとめるということにします。

○部会長 それでは次にいきます、協議事項（3）その他について、事務局よりお願いします。

○事務局 次回の会議についてですが、2月1日、木曜日を予定しております。時間は本日と同様午後6時からになります。場所については、前回も申し上げたとおり、登別地区と幌別地区交互に会場を変えてやりたいと思っております、ヌプル2階の会議室で開催する予定です。詳しくは、あらためて案内を差し上げます。

○委 員 余計な心配かも知れませんが、3回続けて木曜日なんですけども、木曜日ということで出席できない人はいないんでしょうか。

○事務局 2月1日、木曜日と申し上げましたが、部会長とも調整しまして、あらためて

連絡させていただきます。

○部会長 次回開催日については、事務局と調整させていただきます。他にありませんか。無いようですので、これで「第2回新校区検討部会」を終了します。長時間にわたりありがとうございました。